

診療科目 ● **口腔外科学**

プログラム責任者：藤内 祝

| 附属病院 | |
|--------------|------------------------|
| 主任教授 | 藤内 祝（歯科・口腔外科・矯正歯科部長） |
| 准教授 | 光藤 健司、來生 知、廣田 誠 |
| 講師 | 小泉 敏之 |
| 助教 | 筑丸 寛、小栗 千里、中島 英行、岩井 俊憲 |
| 附属市民総合医療センター | |
| 准教授 | 大村 進（歯科・口腔外科・矯正歯科部長） |
| 助教 | 村田 彰吾、高須 曜、藤田 紘一 |

本プログラムの特徴

日本口腔外科学会専門医取得に向けた症例、手術ならびに論文発表を経験し、一分野に卓越した知識と技術を備えた医師・歯科医師を養成することを目的とします。プログラムの特徴としては、研修期間中に専門医資格取得要件として必要となる知識・技術を修得するほか、各人がそれぞれの専門性を有したトレーニングを積むことにより、方面に精通したスペシャリストを養成し、またその結果を学術論文という形で反映します。

日本口腔外科学会専門医取得には6年間の研修期間が必要であり、当プログラム終了時点では有資格とはなりません。しかし、3年間で経験する症例等は取得に必要な実績としては十分なものであり、日本口腔外科学会専門医取得のための足がかりとしては充実したプログラムとなっています。

目 標

- 口腔外科領域及び関連領域の疾患に対する適切な診断（臨床検査学を含む）能力の修得。問診・視診・触診・画像検査などから病変の状態を正確に評価する。全身状態を的確に把握する。口腔外科領域疾患の適切な治療及び手術手法の修得。
- ①外傷患者に対して、全身状態の正確な評価・管理と必要に応じた他科への診療依頼ならびに口腔外科領域の止血・縫合・骨折の整復・異物の除去などの的確な処置が行える。
 - ②歯性急性炎症患者に対して、全身状態と感染の進展範囲の正確な評価・管理と必要に応じた他科への診療依頼ならびに消炎、切開排膿、ドレナージなどの的確な処置が行える。
 - ③良性腫瘍・嚢胞性疾患に対する的確な診断・診療能力を身につける。
 - ④口腔粘膜疾患の正確な診断能力を身につける。特に悪性病変の鑑別が的確に行える。
 - ⑤悪性腫瘍、顎変形症や歯科インプラントに対する正確な知識を備えて、指導医とともにこれら疾患の診療が行える。

目標とする学会認定専門資格

日本口腔外科学会専門医

主な協力病院

藤沢市民病院、済生会横浜市南部病院、横浜保土ヶ谷中央病院、大船中央病院、横浜栄共済病院、横浜医療センター、藤枝市立総合病院、大和市立病院、育成会横浜病院、神奈川県立がんセンター

| 診療科のホームページ URL | 担当者・連絡先 |
|---|----------------------------------|
| http://www-user.yokohama-cu.ac.jp/~oralsurg/staff/staff.html | 中島 英行 kouku@yokohama-cu.ac.jp |

診療科の実績

平成26年度年間新患者数およそ（附属2,500人、セ2,300人）、入院患者数およそ（附属542人、セ441人）、手術件数は入院手術それぞれ（附属400人、セ320人）、附属病院の平成26年度の口腔がんの症例はおよそ110人でした。入院患者数はおよそ80人で、そのうち超選択的動注化学放射線療法を行った症例は約28人でした。全身麻酔下での埋伏歯などの抜歯手術は約60例、嚢胞の摘出腫手術は約30例、唾石症の手術は約124例でこのうちの多くの手術が内視鏡やナビゲーションシステムを応用した低侵襲手術でした。また、顎骨骨折は約3例でした。センター病院の平成26年度の顎変形症の手術は約120例で、悪性腫瘍14例、抜歯手術約120例、嚢胞の摘出手術は約30例でした。

指導医から一言

当診療科では日本口腔外科学会指導医4名、同専門医9名が常勤し、毎年数名が専門医を取得しています。主に悪性腫瘍に対する診療をしていますが、その他にも顎変形症手術・インプラントおよびその関連手術など充実しています。悪性腫瘍は月間5例程度で、主に動注化学放射線療法を行い、手術症例は原発切除のみは年20例程度、頸部郭清年10例程度、再建を含めた手術は年20例程度です。顎変形症手術は年15例程度、インプラント関連手術も年10例程度行っています。大学病院という特性上、難症例が多く集まりますが、このような症例に対する診療でもひとつひとつの治療行為は口腔外科専門医の取得のための研鑽としては十分なものです。また、大学病院ですので、学会発表や論文の発表など、専門医取得の必須要件も十分に経験することが可能です。

シニアレジデントからのメッセージ

後期研修医として1年が過ぎました。外来では様々な医療施設・他科からの紹介患者が多く、様々な疾患を経験することができ、外来手術ではインプラント外科を含めた多くの手術が行われています。また病棟では口腔癌治療の最前線を経験し、その他多数の全身麻酔手術も行われています。また早い段階から学会発表や論文投稿のチャンスもあり、専門医へ向けて着実なステップアップが期待できます。その分勉強も大変ですが、同世代のレジデントも多く、皆で丸となってがんばっています。ぜひ横浜市立大学口腔外科に見学にお越し下さい！